

九臯会 若竹能

花筐路

第1日

令和7年 2月23日(日)

午後1時開演 (午後12時30分開場)

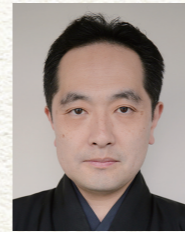
小鍛冶室君

第2日

令和7年 7月27日(日)

午後1時開演 (午後12時30分開場)

【神楽坂・矢来能楽堂】



永島 充  
(ながしまみつる)  
「小鍛冶」シテ

1968年生  
(公社)能楽協会会員 (公社)観世九臯会所属  
三世観世喜之および永島忠彦に師事  
「美寿々会」主宰  
狸々乱1999年 石橋2002年  
道成寺2004年  
2013年6月永島姓を継承 ギリシャ、オランダ等、海外公演にも参加



中森 貫太  
(なかもりかんだ)  
「室君」シテ

1961年生  
(公社)能楽協会会員 (公社)観世九臯会所属  
三世観世喜之および中森品三に師事  
「能を知る会」「玉扇慶祥会」主宰  
道成寺1990年 安宅1993年  
翁1995年  
(公財)鎌倉能舞台 業務理事、日本能楽会会員(重要無形文化財総合指定)  
慶應義塾湘南藤沢中学校高等学校講師



遠藤 和久  
(えんどうかずひさ)  
「花筐」シテ

1959年生  
(公社)能楽協会会員 (公社)観世九臯会理事  
三世観世喜之、および父 遠藤六郎に師事  
狸々乱1987年 石橋1993年  
道成寺1998年 安宅2012年  
日本能楽会会員(重要無形文化財総合指定)



中所 宜夫  
(なかしょのぶお)  
「淡路」シテ

1958年生  
(公社)能楽協会会員 (公社)観世九臯会理事  
三世観世喜之に師事 一乃会主宰  
道成寺2001年 砵2013年  
安宅2016年 翁2020年  
著書『能のうたー能楽師が読み解く遊楽の物語』(新泉社)  
(一社)日本能楽会会員(重要無形文化財総合指定)

わかたけのう  
若竹能とは

観世九臯会当主・観世喜之門下の毎月行われる若手稽古会「若竹会」より発足し、研究公演として、平成5年より公開公演を行って参りました。さらなる芸の向上を目指し、活動をさせて頂いております。

今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

九臯会 若竹会一同

チケット料金 <全席指定> (税込)

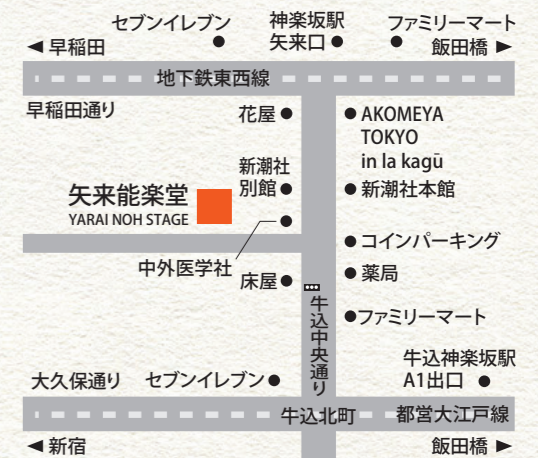
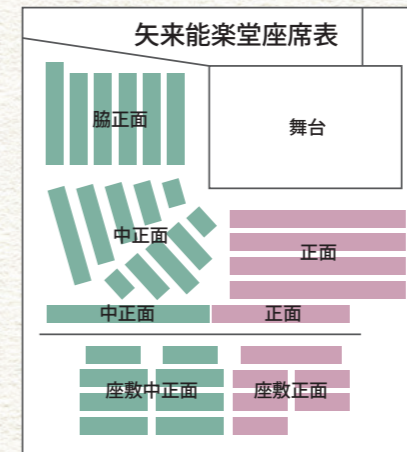
● 正面席……………6,600円

● 脇正面・中正面席……5,500円

● 学生券(脇正面・中正面席)…3,300円

※要学生証(26歳未満)・未就学児童入場不可

2月・7月セット券  
1000円引き  
学生券を除く  
2月23日(日)まで発売



お申込み

カンフェティチケットセンター

・ご予約前に「GETTIIS」への会員登録(無料)が必要です。

電話予約：050-3092-0051

(受付時間 平日10:00~17:00 ※オペレーター対応)

・座席を指定してご購入いただけます。



2月公演  
<https://confetti-web.com/@/2025wakatake2>



7月公演  
<https://confetti-web.com/@/2025wakatake7>

お問合せ

矢来能楽堂(観世九臯会) 電話：03-3268-7311

ticket@yarai-nohgakudo.com

地下鉄東西線神楽坂駅下車 矢来口より徒歩2分  
都営大江戸線牛込神楽坂駅A1出口より徒歩5分  
駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。

やらいのうかくどう  
<矢来能楽堂>

東京都新宿区矢来町60番地 TEL 03-3268-7311

\*記載の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。  
\*許可のない録音、撮影は一切禁止です。  
\*上演中、携帯電話は電源からお切りください。  
\*演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。場合によっては退場していただくこともございます。  
\*最新情報は矢来能楽堂ホームページや公式X(旧ツイッター)などでも随時お知らせいたします。

<http://yarai-nohgakudo.com/>

主催・公益社団法人 観世九臯会

◆二月 若竹能

令和七年二月二十三日(日) 午後一時開演

(午後十二時三十分開場)

能 淡路

Awaji

ツレ 金子仁智翔  
シテ 中所 宜夫  
ワキ 館田 善博  
アイ 大藏 教義

大鼓 亀井 洋佑 太鼓 大川 典良  
小鼓 田邊 恭資 笛 平野 史夏

地謡 奥川 恒成 永島 充  
桑田 貴志 奥川 恒治  
坂 真太郎 中森 貫太  
佐久間二郎 鈴木 啓吾

休憩二十分

仕舞 国栖 田村 海士 善界

中森健之介  
弘田 裕一  
観世 喜之  
小島 英明

地謡 筒井 陽子  
鈴木 啓吾  
奥川 恒治  
坂 真太郎

(午後三時頃)

休憩十分

能 花筐

Hanagatami

子方 小島 伊織  
ツレ 石井 寛人  
シテ 遠藤 和久  
後見 桑田 貴志  
弘田 裕一

大鼓 柿原 弘和 笛 高村 裕  
小鼓 鶴澤洋太郎

地謡 金子仁智翔 佐久間二郎  
筒井 陽子 遠藤 喜久  
中森健之介 駒瀬 直也  
長山 耕三 永島 充

終演予定 午後四時十分

◆七月 若竹能

令和七年七月二十七日(日) 午後一時開演

(午後十二時三十分開場)

能 室君

Murogimi

ツレ 筒井 陽子  
ツレ 奥川 恒成  
ツレ 中森健之介  
シテ 中森 貫太  
後見 鈴木 啓吾  
観世 喜正

大鼓 柿原 光博 太鼓 澤田 晃良  
小鼓 清水 和音 笛 熊本俊太郎

地謡 金子仁智翔 長山 耕三  
石井 寛人 遠藤 喜久  
桑田 貴志 奥川 恒治  
坂 真太郎 小島 英明

休憩二十分

仕舞 逆矛 三輪 葛城 氷室

石井 寛人  
観世 喜之  
観世 喜正  
佐久間二郎

地謡 金子仁智翔  
駒瀬 直也  
弘田 裕一  
奥川 恒成

(午後三時頃)

休憩十分

能 小鍛冶

Kokaji

黒頭

シテ 永島 充  
ワキ 野口 琢弘  
アイ 上田 圭輔  
後見 長山 耕三  
遠藤 和久

大鼓 大倉慶乃助 太鼓 梶谷 英樹  
小鼓 飯田 清一 笛 藤田 貴寛

地謡 奥川 恒成 小島 英明  
筒井 陽子 鈴木 啓吾  
桑田 貴志 中所 宜夫  
坂 真太郎 佐久間二郎

終演予定 午後四時二十分

淡路

のどかな春の日、天皇の臣下(ワキ)が淡路島を訪れると、老翁(前シテ)と若い男(ツレ)が神田を耕していた。老翁は臣下に神代より伝わる淡路島の伝説を語ると、国土創生の様を見せようと言って天上に消える。(中人)

その夜、月の光とともに伊弉諾神(後シテ)が降臨し、天泰平を寿ぎ颯爽と神の舞を舞う。

イザナギ・イザナミの二神が高天原の神々に命じられ、天浮橋に立ち天沼矛をもって日本列島を生み出した「国生み」の伝説を元に作られた能。

花筐

皇位継承が決まった男大跡皇子は、寵愛していた照日の前(前シテ)に文と花筐を残して京都へ上っていった。(中人)

即位した継体天皇(子方)の御幸の前に、侍女(ツレ)を伴った狂女(後シテ)が近づく。官人(ワキ)に制止されるが、携えた花筐により天皇は狂女が照日の前であると気づき、晴れて再び契りを結ぶ。

漢王が李夫人を追慕し反魂香を焚いたという故事を描く「李夫人の曲舞」が見どころ。

室君

播磨国の室明神で神事が行われるにあたり、室君(ツレ)と呼ばれる遊女たちは舟に乗り謡い囃しながら神前に参る。室君が「棹の歌」の曲舞を舞い神楽を奏すると、浄土より韋提希夫人【いだいけぶん】(シテ)が降臨し、麗しき舞を舞うと春の夜明けの雲に乗って昇天していく。一曲の大半においてツレが主役的役割を果たす稀曲。

小鍛冶

一条院は霊夢を蒙り、天下を治める御剣を打ち上げるよう、臣下(ワキツレ)を通じて小鍛冶宗近(ワキ)に勅命を下す。しかし宗近は、優れた相槌の相手がいないことに苦慮し、日ごろ自身が信仰する稻荷神社に祈願すると、そこへただならぬ霧困気の童子(前シテ)が現れる。童子は宗近に対し「剣は必ず打てる」と励ますと、草薙の剣の神話を持ち出して剣の威徳を様々に語り、奇瑞を待つように告げると稻荷山に姿を消す。(中人)

宗近が神聖な壇を設えて祈祷すると、そこへ稻荷明神(後シテ)が現れて宗近の相槌を務め、ここに名刀・小狐丸が完成する。

今回は『黒頭』の小書(特殊演出)により、後半の場面が更に躍動的に描かれる。